

**DELPHION**

RESEARCH

PRODUCTS

INSIDE DELPHION

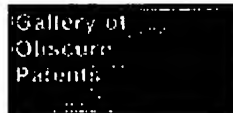
My Account

Search: Quick/Number Boolean Advanced Derwent

**The Delphion Integrated View: INPADOC Record**Get Now: ☒ PDF | [File History](#) | [Other choices](#)Tools: Add to Work File: [Create new Work](#)View: Jump to: [Top](#) [Email](#)Title: **JP63234967A2: DIAPER**Country: **JP Japan**Kind: **A2 Document Laid open to Public inspection**Inventor: **HIRAMORI TAMEO;  
NISHIMURA MOTOO;**Assignee: **ROOMAN KOGYO:KK**  
[News, Profiles, Stocks and More about this company](#)Published / Filed: **1988-09-30 / 1987-03-24**Application  
Number: **JP1987000070053**IPC Code: **Advanced: A61F 5/44;**  
Core: more...  
**IPC-7: A41B 13/02; A61F 5/44;**ECLA Code: **None**Priority Number: **1987-03-24 JP1987000070053**

Family:

| PDF                                 | Publication  | Pub. Date  | Filed      | Title  |
|-------------------------------------|--------------|------------|------------|--------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | JP63234967A2 | 1988-09-30 | 1987-03-24 | DIAPER |
| 1 family members shown above        |              |            |            |        |

Other Abstract  
Info: **None**[Nominates this for the Gallery...](#)**THOMSON**

Copyright © 1997-2006 The Tho

[Subscriptions](#) | [Web Seminars](#) | [Privacy](#) | [Terms & Conditions](#) | [Site Map](#) | [Contact U](#)

⑨ 日本国特許庁(JP) ⑩ 特許出願公開  
 ⑪ 公開特許公報(A) 昭63-234967

⑫ Int.Cl.<sup>4</sup>A 61 F 5/44  
A 41 B 13/02

識別記号

庁内整理番号

H-7603-4C  
N-6154-3B

⑬ 公開 昭和63年(1988)9月30日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全2頁)

⑭ 発明の名称 おしめ

⑮ 特 願 昭62-70053

⑯ 出 願 昭62(1987)3月24日

⑰ 発 明 者 平 森 為 雄 東京都品川区中延3丁目5番7号  
 ⑱ 発 明 者 西 村 千 夫 東京都杉並区阿佐谷南1丁目9番17号  
 ⑲ 出 願 人 株式会社 ローマン工 東京都品川区中延2丁目17番11号  
 業

## 明 開 書

## 1. 発明の名称

お し め

## 2. 特許請求の範囲

ヒトの皮膚の炎症を治療及び予防する薬剤を付着したおしめ。

## 3. 発明の具体的な説明

## 「産業上の利用分野」

本発明は、おしめに関する。

## 「従来の技術」

おしめは、以前では、家庭内で作られ市販されることがなかったが、最近では工業的に生産されるようになってきている。さらに最近、老人人口の増加とともに、これら老人の排泄の処理について問題が生じている。その解決の方法の一つとして、老人用のおしめ(おむつ)を用いる方法がとられている。しかし、現在のおしめでは、老人の皮膚

が荒れているため、かぶれやじょう瘡が生じ易く、その患部には困難がつきまとう。

## 「発明の概要」

本発明者らは、これらおしめの欠点を解決するために苦慮検討した結果、本発明を見出した。

即ち、本発明は、ヒトの皮膚の炎症を治療及び予防する薬剤を付着したおしめに関する。

本発明に用いられる薬剤としては、ヒトの皮膚の炎症を治療及び予防するものなら何でもよいが、例えば塩化リゾチーム、インドメタシン、ジクロラエナフタナトリウム、アロエエキス、桃の葉のエキスなどがあげられる。この中、効果の点からみて、生薬系のもの特にアロエエキスが好ましい。

これら薬剤を適用されるおしめとしては、従来市販されている形のおしめならばどんなものでもよく、材質として紙質又は天然繊維合繊維又はそれらの混紡したものでも

## 特開昭63-234967(2)

よい。又は糊り方には関係なく、例えばポリヤス、ガーゼ、不織布などがあげられる。

本発明のおしめでは、前記の薬剤をこれらおしめに付着させる。付着させるやり方としては、おしめを構成する糸に付着させておとし、これをおしめとする方法、おしめにする布に付着させる方法がある。この場合、糸又は布を前記薬剤を溶解又は懸濁した液に含浸、乾燥させるか、又はこの液を糸又は布に噴霧又は塗布し乾燥させる方法がある。もちろ、おしめとしてから前記液を含浸させるか又は塗布又は噴霧することもできる。

前記薬剤をおしめに付着させるに当って、薬剤が糸又は布からとれないように、薬剤を含有する液にヒトの皮膚を刺激しない緩衝剤を含有させるのが好ましい。このような緩衝剤として例えば合成又は天然の糊料例えばデキストリン、トラガントガム、デアガム、カラゲナン、アルギン酸ナトリウム、ゼラチン、メチルセルロース、エチルセル

全く生じなかった。

ロース、ヒドロキシエチルセルロース、ポリビニルアルコール、コンスターチ、ヒドロキシプロピルメチルセルロースなどがあげられる。

本発明のおしめに付着する薬剤の量は、多ければ多いほどよく、又用いる薬剤の種類でも異なるが、おしめ1 cm<sup>2</sup> 当り0.1 mg 以上が好ましい。

本発明のおしめは、長期間使用してもヒトの皮膚に炎症を生じさせることがなく、連続して使用することができる。

## 「実施例」

## 実施例1

アロエの葉を縦切すりつぶして圧搾した。次に得られた液を約100°Cに加熱し、ろ過し、ろ液を使用する。

本発明のおしめをこのアロエの液に浸し、乾燥させ、おしめ1 cm<sup>2</sup> 当りアロエが約3mgとなるように均一に付着させた。

このおしめを老人に使用させたが、かぶれなどの障害は

特許出願人

株式会社 ローマン工業